



エマージェンシーシグナル

取付要領書

品 番

品 番

08671-00120

構成部品

No.	品 名	品 番	個数
1	ライト	08671-00140	1
	バッテリー（補給品）	08671-00130	—
2	充電台	08671-00150	1
3	電源ハーネス	—	1
4	クランプバンド	—	12
5	タッピングスクリュー (M3×12mm)	—	4
6	ハーネス固定テープ (78mm×245mm)	—	1
7	保護シート (104mm×200mm)	—	1
8	型紙	—	1
9	取扱書	—	1

取り付け上の注意事項

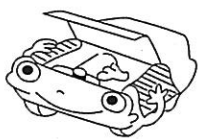
- 本文中で取り付け上の **⚠ 注意** は、必ず取り付けに反映させて作業を行ってください。もし、**⚠ 注意** を無視して取り付けると、製品の機能を阻害したり、車両の故障につながる恐れがあります。
- 本文中で取り付け上の **👉 アドバイス** は、スピーディーに作業していただく上で、知っておいていただきたい事を記載しています。
- 車両部品の取り外しに際して、タッピングスクリユやボルト、ナット類の紛失などがないように整理して、復元する際に間違えないように配慮してください。
- 取り付け作業は、安全な場所で車両を確実に止めて行ない、ビニールシート、ガムテープなどの保護具で車両に傷をつけないように配慮してください。

取り付ける前に

- バッテリーの⊖側ケーブルを外す

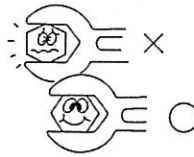


- ボディー保護のカバーを付ける



部品の取り付けは

- 寸法に合った工具を使う



- 裏側に注意



配線は

- ブラブラさせない

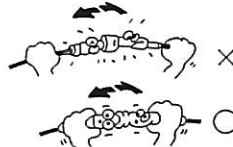


車両のワイヤーハーネスとまとめたり、クランプを使用して固定する。

- 高熱や動くものを選ぶ



- コネクタは本体を持って外す



- コネクタは確実に接続



- 車両部品が確実に復元できるようワイヤーハーネスを処理する



- 無理に引っ張らない



- 防水及び被覆の保護



ダッシュパネルなどを貫通させる場合は、グロメットを使用し、防水を完全にする。穴を通す場合には、リード線に保護をする。

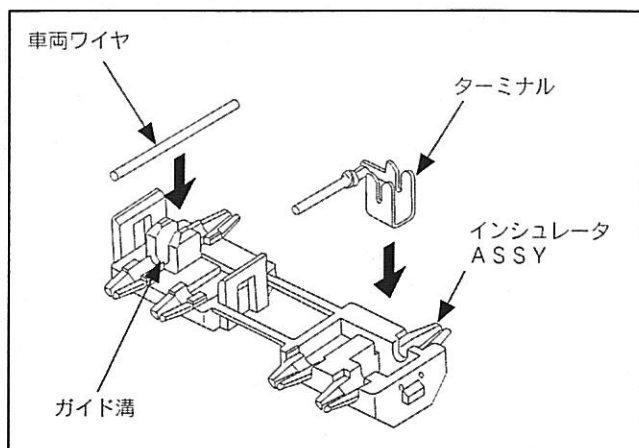
結束作業上の注意事項

- 図に従って可動部を避け、車両ハーネスに沿わせて垂れ下がりやかみ込み、摩擦合いのないようにクランプおよびテーピングを行ってください。また、クランプは締め過ぎないように注意してください。
- クランプバンドの余った部分はきちんとカットして、末端が他のハーネスに接触しないようにしてください。
- 車両ワイヤーハーネスを移動した場合は、必ず元どおりにして他の部品に接触しないようにしてください。

取り付けに必要な工具・部品

- | | | |
|-------------------|------------|------------------|
| 1. 一般工具 | 5. ケガキ針 | 9. ガムテープ (保護テープ) |
| 2. 電動ドリル | 6. カッターナイフ | 10. 車両修理書 |
| 3. ドリル (φ3, φ4.5) | 7. スケール | |
| 4. ホールソー (φ16) | 8. 絶縁テープ | |

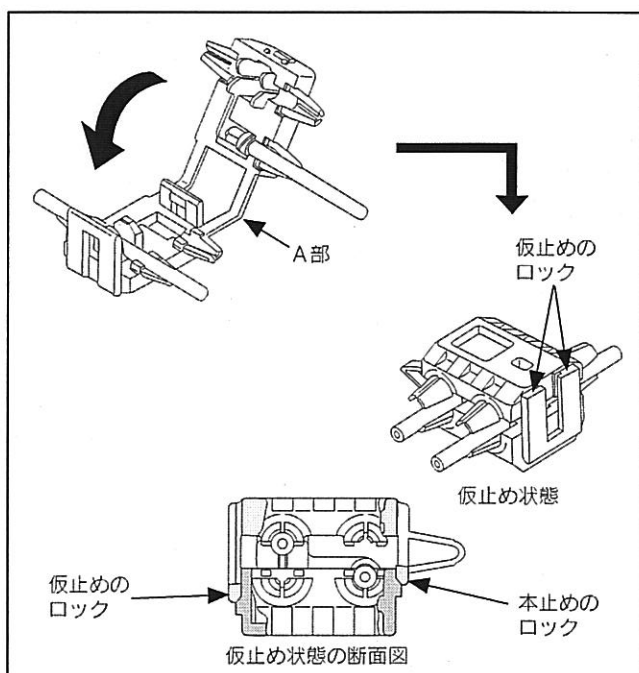
分岐コネクタの接続方法



1. 接続する車両ハーネスがビニールチューブおよびビニールテープで覆われている場合は、適量をカットする。
2. 接続する車両ハーネスを確実にガイド溝へ挿入する。

⚠ 注意

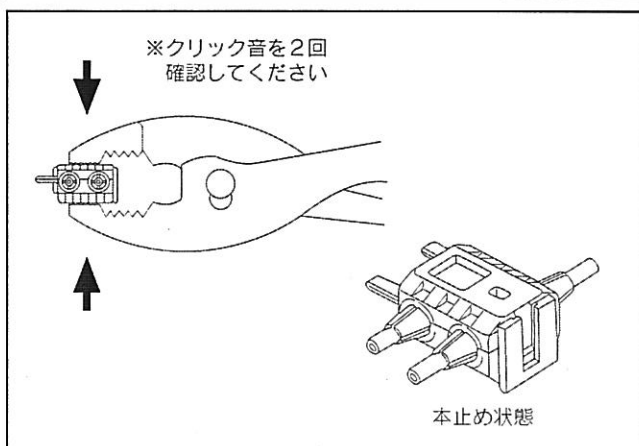
- ・ターミナルは、通常インシュレータASSYにセットされていますが、外れている場合はターミナルに圧入用の穴があいていますので、完全に圧入されるまでターミナルを矢印の方向に押し込んでください。
- ・車両のビニールチューブ等をカットする際は、車両ハーネスを傷つけないよう注意してください。



3. 分岐コネクタのヒンジA部を支点にして折り返し、仮止めの状態にする。

⚠ 注意

仮止めのロックは片側にしか付いていないので、本止めのロックが上下合わさるところで止めてください。



4. プライヤ（広口の状態で、仮止めされている分岐コネクタの中心部を、左右のロックがかかるまで挟み込む。

⚠ 注意

ロック音と同時にきちんと目視で2ヶ所ロックしていることを確認してください。

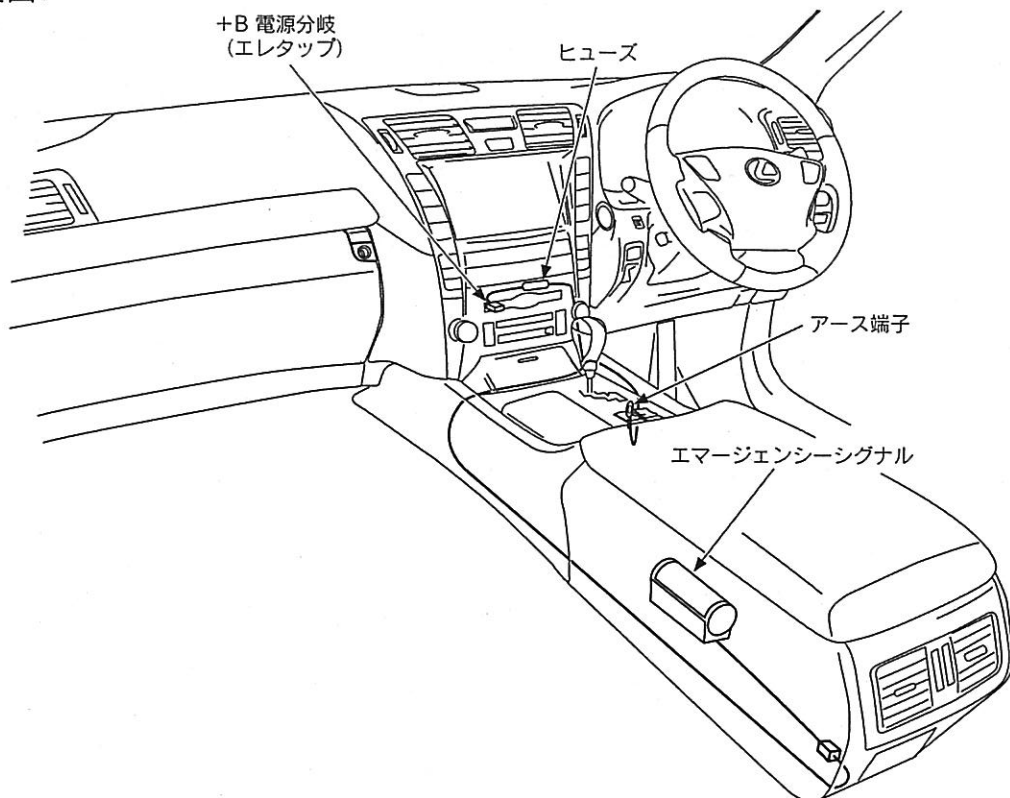
5. 分岐コネクタの異音防止のため、ビニールテープを巻く。

分岐コネクタ使用上の注意

1. 作業終了後、ぶらつき防止のため分岐コネクタ本体をワイヤハーネス幹線にテープ等で固定するか、分岐コネクタ中心部より25mm以内の所をクランプバンド等で固定してください。
2. ヒンジ部が折れた場合でも性能には影響ありませんので、そのまま使用してください。
3. 一度使用したものは再使用しないでください。又、取り外す際は、分岐コネクタを車両ハーネスに付けたまま用品側ハーネスを30mm程度残して切り離し、テープ等で絶縁処理してください。

取付概要

<配線概要図>

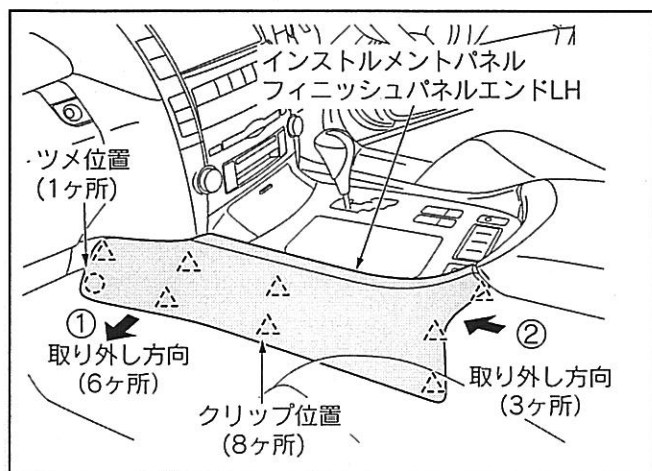


取付概要



注意

- ・バッテリーの⊖端子を取り外してから作業にかかってください。
- ・再度、バッテリーの⊖端子を接続する際は、各部品の初期化が必要となります。



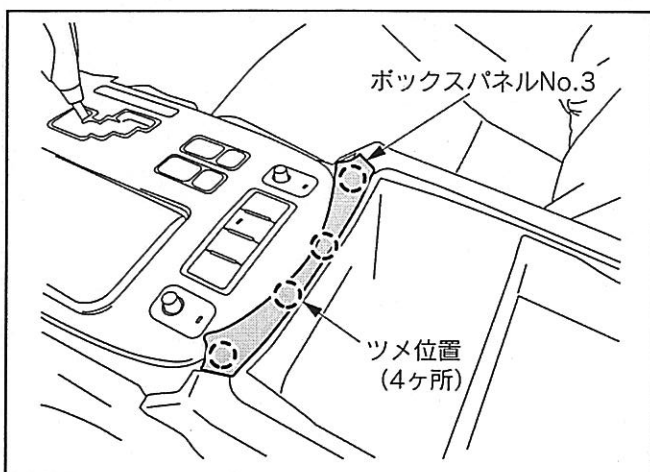
1. 車両部品の取り外し

- (1) インストルメントパネルフィニッシュパネルエンド LH・RH を取り外す。

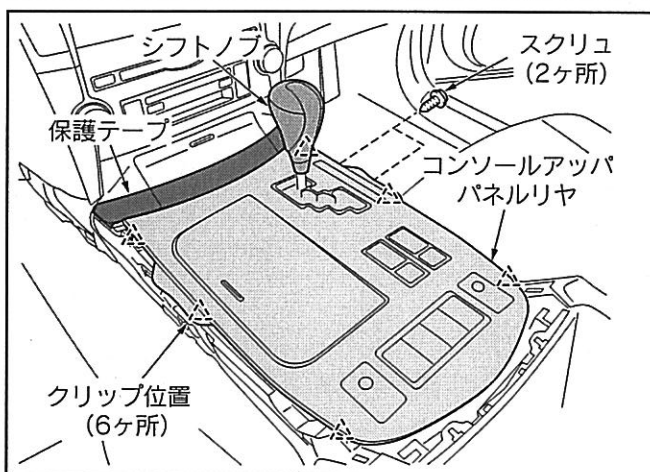


アドバイス

図の手順で取りはずす。



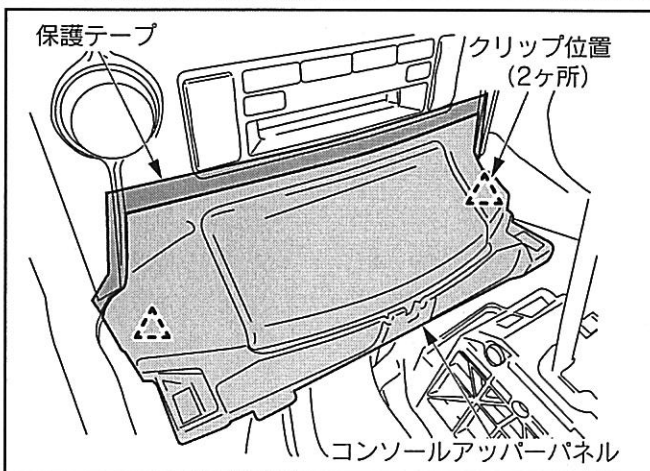
- (2) コンソールボックスのアームレストを車両後方へスライドさせ開ける。
- (3) ボックスパネル No.3 を取り外す。



- (4) シフトノブを取り外す。
- (5) コンソールアツパパネルリヤを取り外す。

⚠ 注意

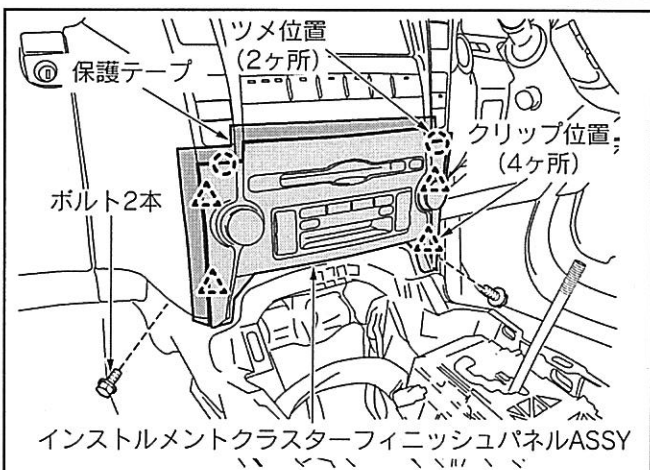
車両キズ付け防止のために必ず保護テープを貼り付けて作業してください。



- (6) コンソールアツパパネルを取り外す。

⚠ 注意

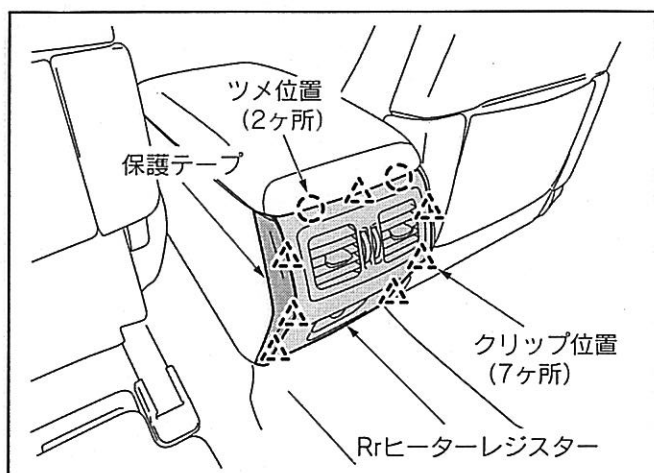
車両キズ付け防止のために必ず保護テープを貼り付けて作業してください。



- (7) インストルメントクラスターフィニッシュパネル ASSY を取り外す。

⚠ 注意

車両キズ付け防止のために必ず保護テープを貼り付けて作業してください。

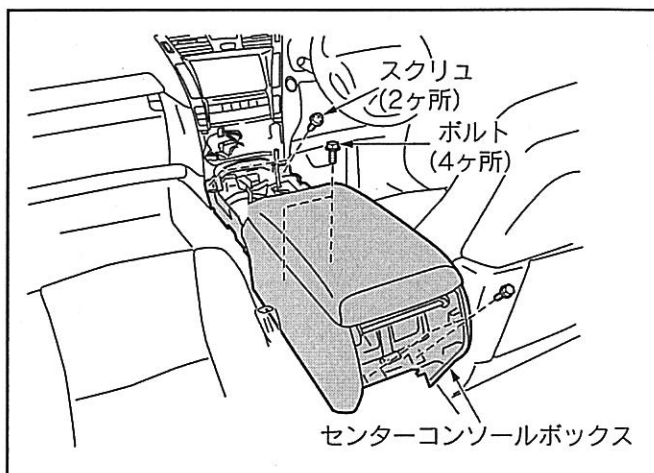


(8) Rr ヒーターレジスターを取り外す。

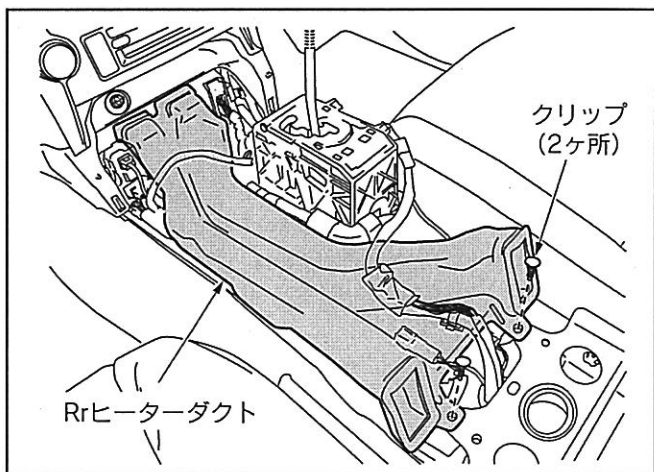


注意

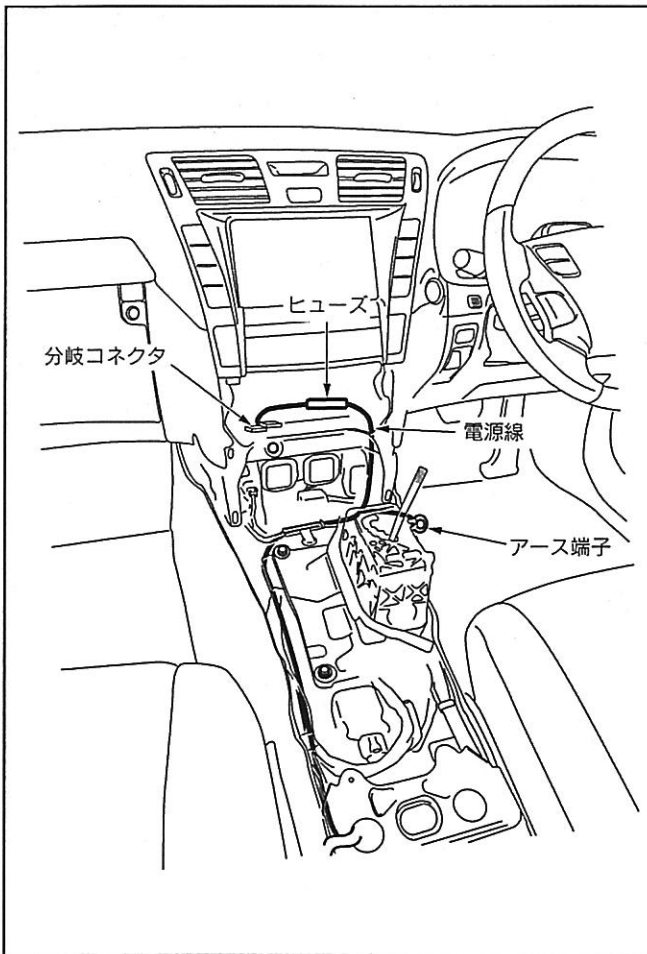
車両キズ付け防止のために必ず保護テープを貼り付けて作業してください。



(9) センターコンソールボックスを取り外す。



(10) Rr ヒーターダクトを取り外す。

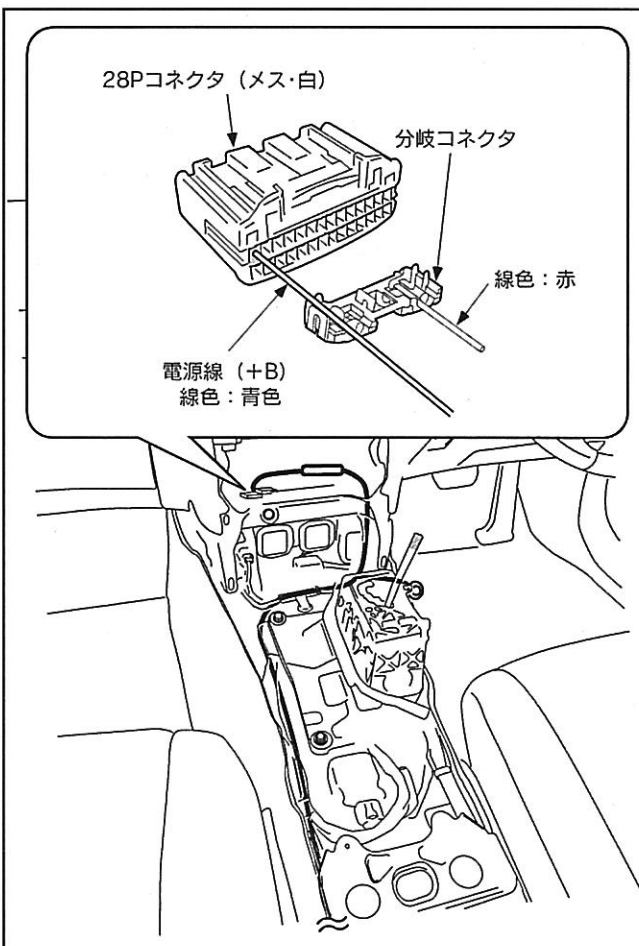


2. 配線作業

(1) 左図のように電源線、アース線を配線する。

⚠ 注意

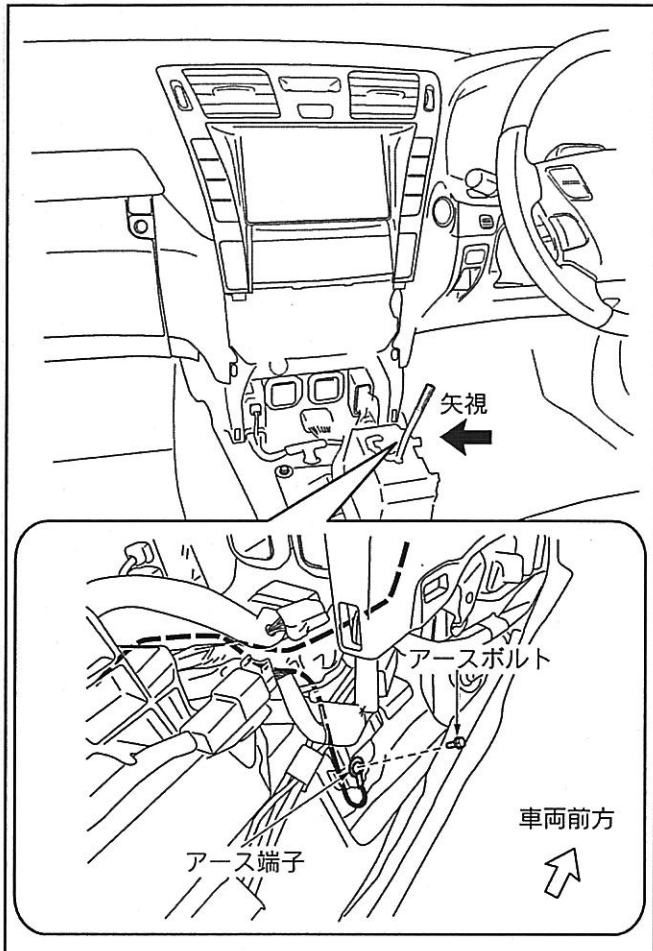
ハーネスが車両の金属部分のエッジに干渉しないように引き回してください。



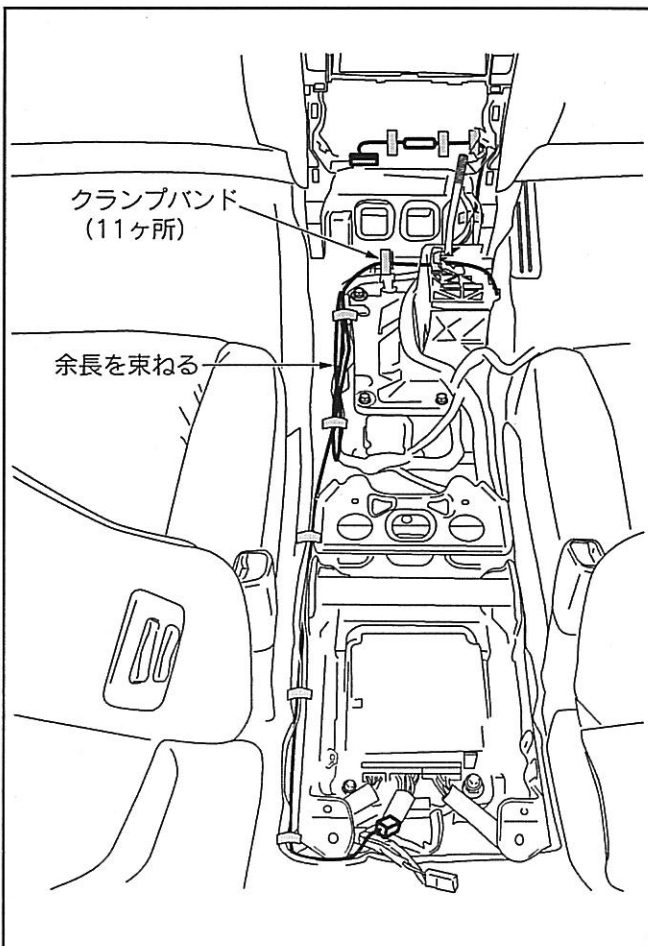
(2) 電源線の分岐コネクタ (線色: 赤) をオーディオ 28P コネクタ (メス・白) の+B 線 (線色: 青色) に接続する。

⚠ 注意

- ・ 分岐コネクタの結線方法は 3 ページを参照して作業してください。
- ・ 端子番号と線色を確認し誤った接続をしないよう十分注意してください。(15 ページ配線図参照)



- (3) 左図の位置のアースボルトにアース線の丸型アース端子を共締めする。

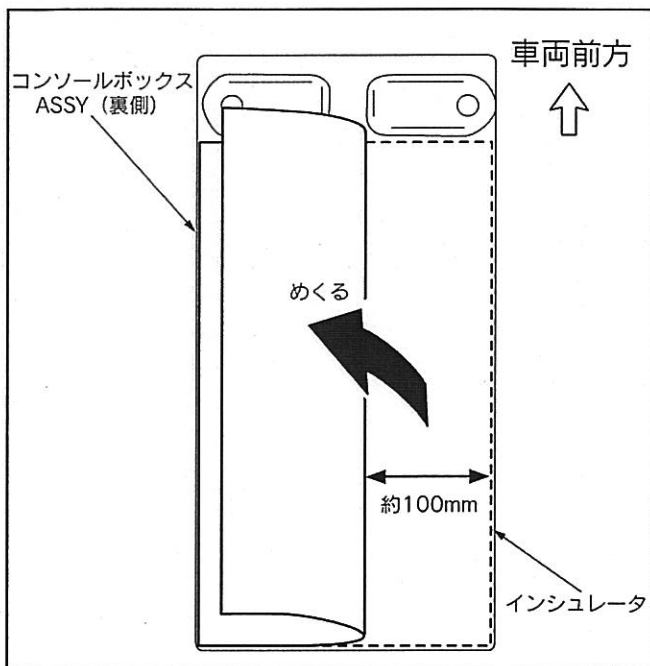


- (4) 左図の位置で電源線及びアース線を車両ハーネスに束ねて固定する。

・ クランプバンド …………… 11 本

⚠ 注意

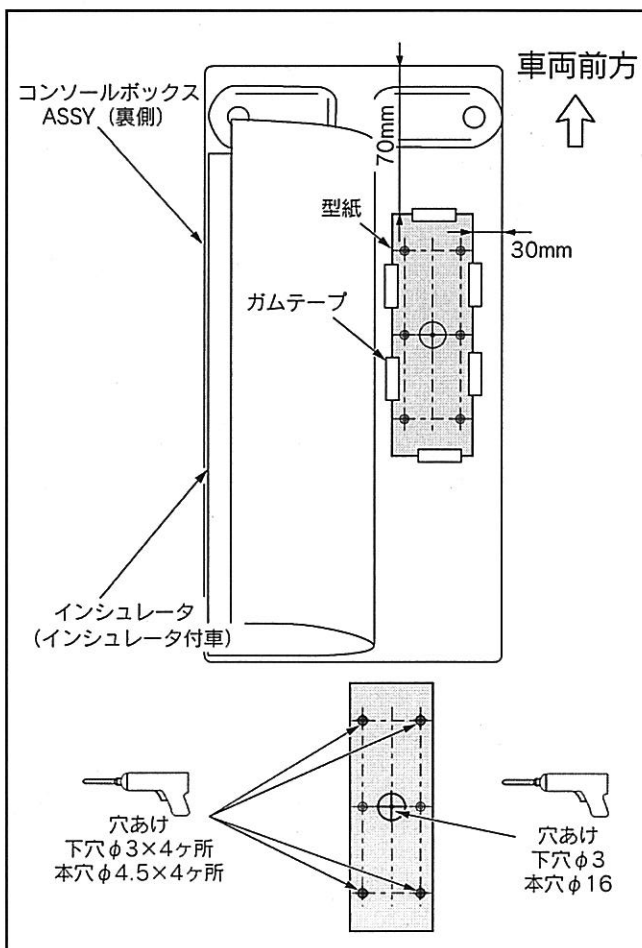
ハーネスが車両の金属部分のエッジに干渉しないように固定してください。



3. 充電台の取付け・接続

(1) : インシュレータ付車

コンソールボックス ASSY 裏側のインシュレータを約 100mm めくる。



(2) コンソールボックス裏面に左図のようにガムテープ等で型紙を貼り付ける。

⚠ 注意

穴あけ前に型紙の位置が正しいか再度確認してください。

(3) 型紙上の $\phi 3$ 穴 (5 カ所) の中心にケガキ針を当てて印を付ける。

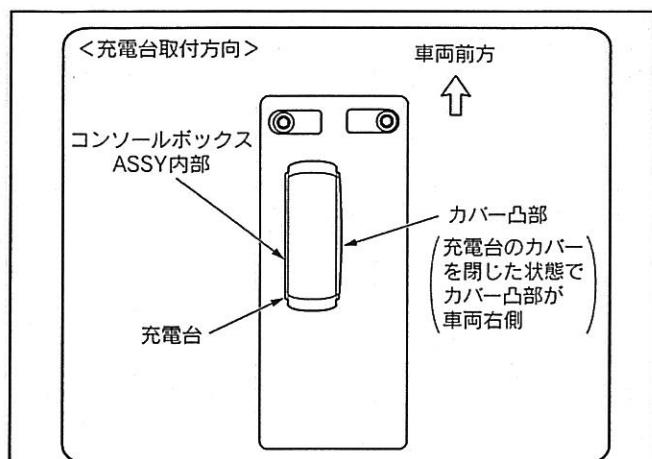
(4) ケガキ針で付けた印を中心に $\phi 3$ の下穴 (5 カ所) をあける。

(5) $\phi 4.5$ (4 カ所) 及び $\phi 16$ の本穴をあける。

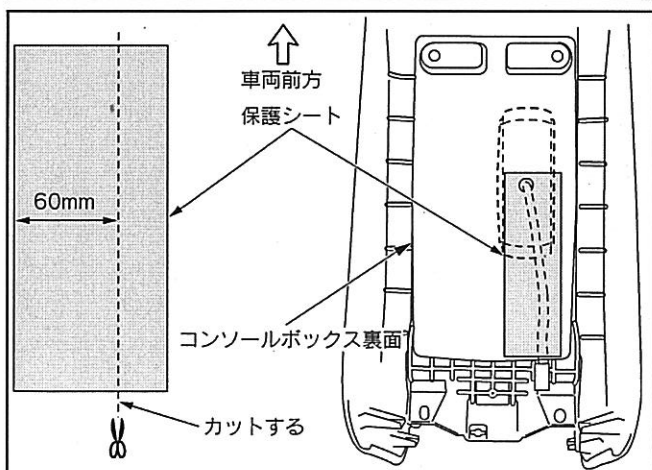
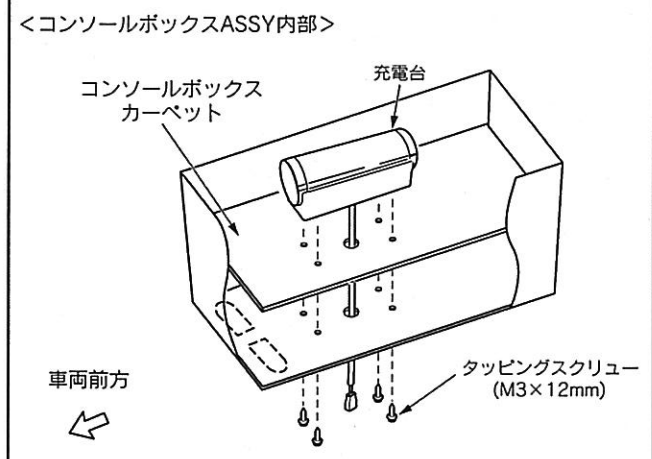
(6) 穴部のバリ、カエリを取り除く。

⚠ 注意

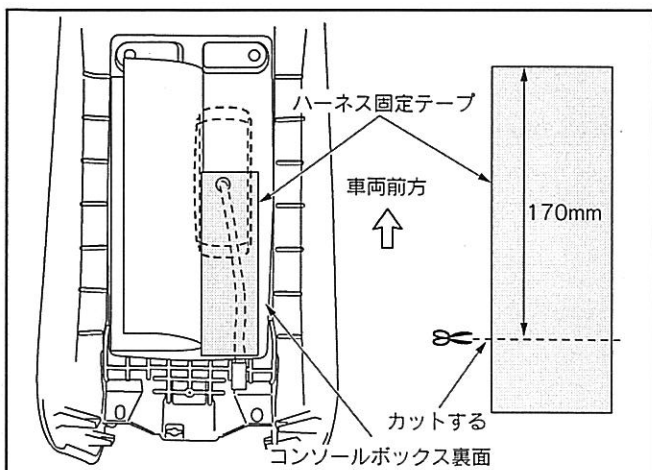
穴あけ作業時は中心がずれないように慎重に作業してください。



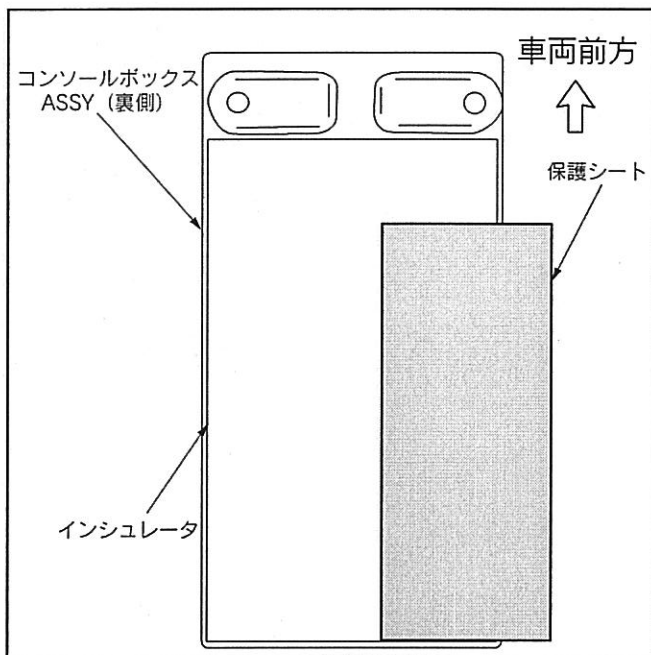
- (7) センターコンソールボックスに開けた $\phi 4.5$ 、 $\phi 16$ の穴に合わせて、コンソールボックスカーベットに穴を開ける。
- (8) タッピングスクリュー (M3 × 12mm) 4 本を使用して、充電台をサービスホールカバーに取り付ける。



- (9) : インシュレータ無車
充電台ハーネスを車両後方へ出し、図のように同梱されている保護シートを、60mm にカットし、充電台ハーネスと共に、センターコンソールボックス底面に貼る。



- (10) : インシュレータ付車
充電台ハーネスを車両後方へ出し、図のように同梱されているハーネス固定テープを、170mm カットし、充電台ハーネスと共に、センターコンソールボックス底面に貼る。

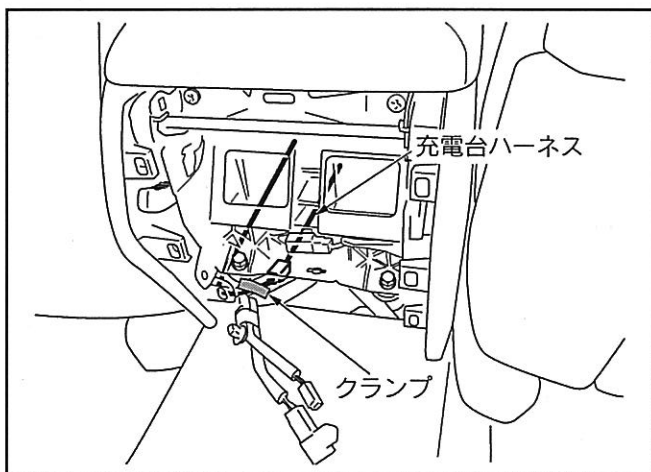


(11) : インシュレータ付車

インシュレータを戻し、同梱されている保護シートを上から貼り付ける。

(12) Rr ヒーターダクトを取り付ける。

(13) センターコンソールボックスを取り付ける。



(14) 電源ハーネスと充電台の 2P コネクタを接続する。

(15) 左図位置で 2P コネクタを車両ハーネスに固定する。

・ クランプバンド …………… 1 本



注意

ハーネスが車両の金属部分のエッジに干渉しないように引き回してください。

取付完了後の点検

1. 取り付けの確認

- ① 部品の取り付け、各ハーネスの接続に誤りや異常がないか、もう一度点検してください。
- ② 取り外した車両部品を復元する際に、車両ハーネスおよび用品ハーネスのかみ込みや部品の締め付け不良がないか、もう一度点検してください。

2. 作動確認

バッテリーの⊖端子を接続して、別紙の「取扱書」の操作要領に従って作動確認を行なってください。

復元作業

作動確認後は、取り外した車両部品を元通りに取り付け、車両を復元する。

最終確認

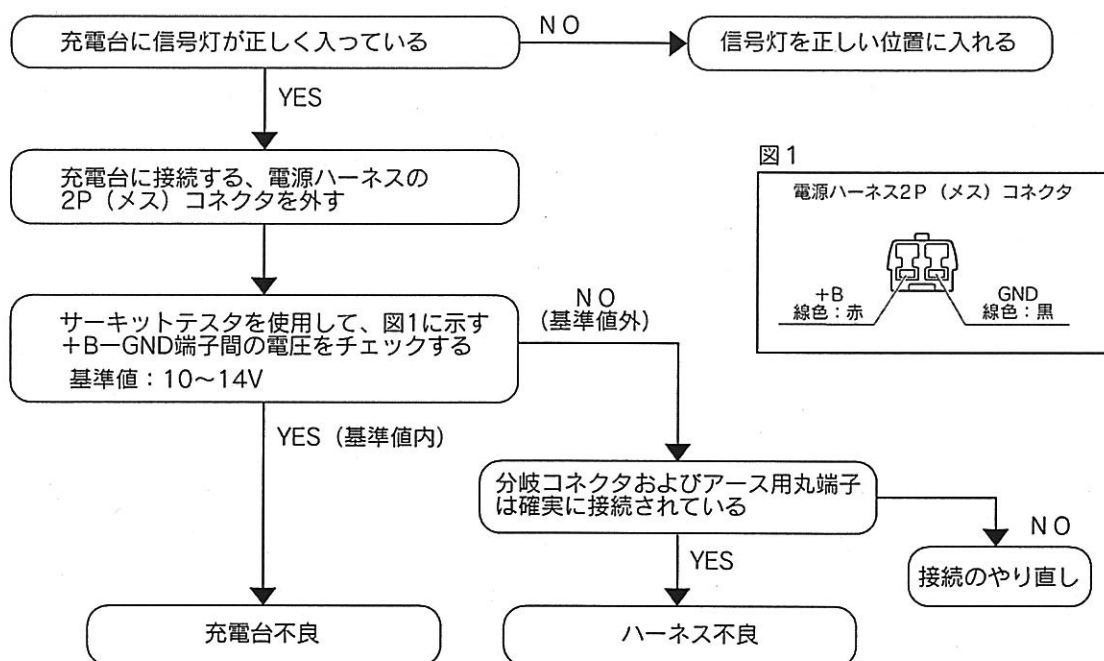
	確 認 項 目	チェック欄
1	取り付けに際して、取り外した部品は元通り取り付けられているか。	
2	ヘッドランプ、ターンシグナルランプ等は点灯及び作動するか。	

取り付け店様へのお願い

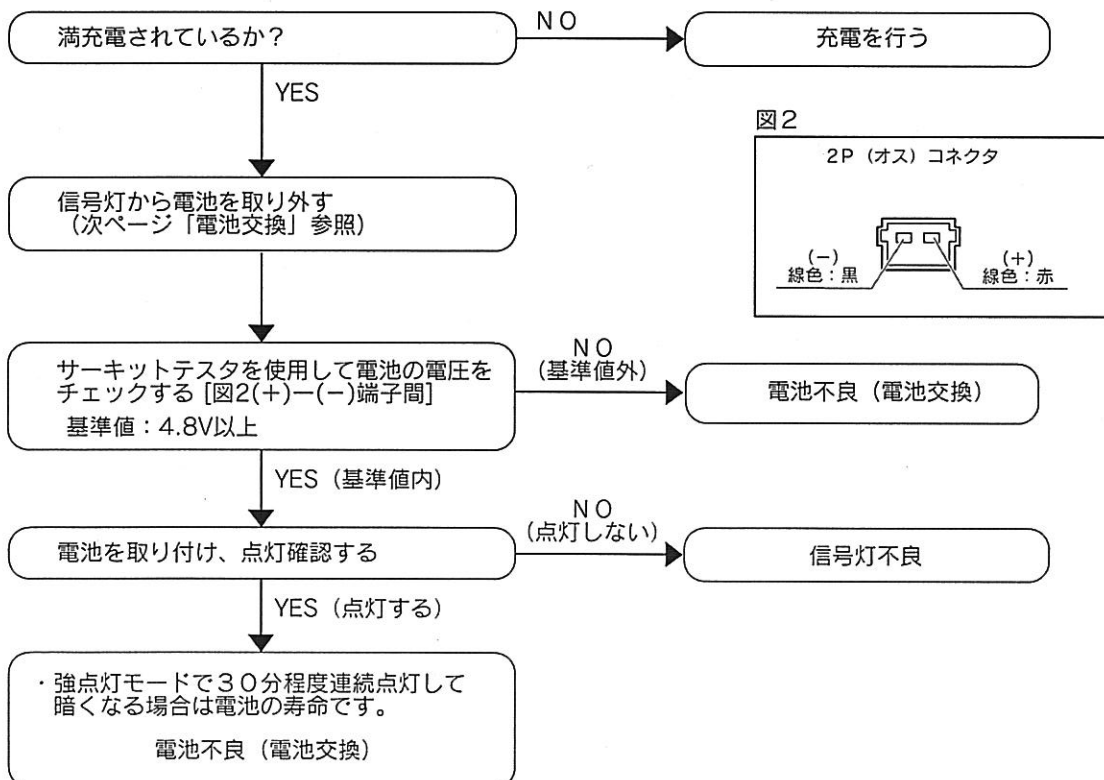
- ・ 別紙の「取扱書」は、必ずお客さまに渡してください。
- ・ お客様に操作方法を説明してください。

トラブルシュート

充電しても充電ランプが点灯しない

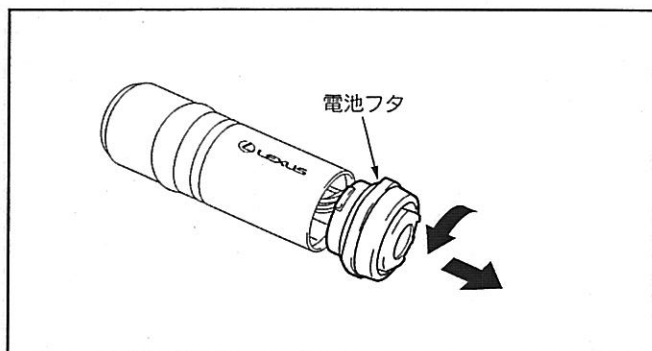


スイッチを入れても点灯しない または、すぐに消灯する

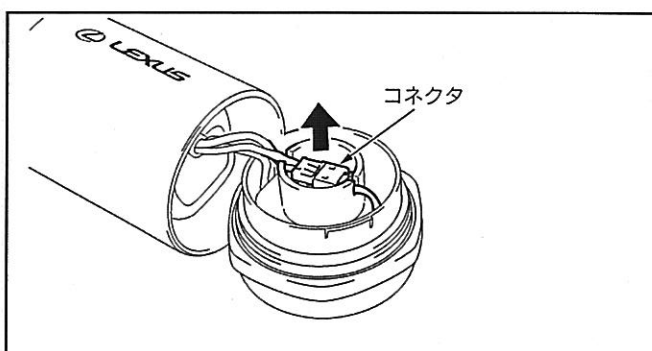


電池交換

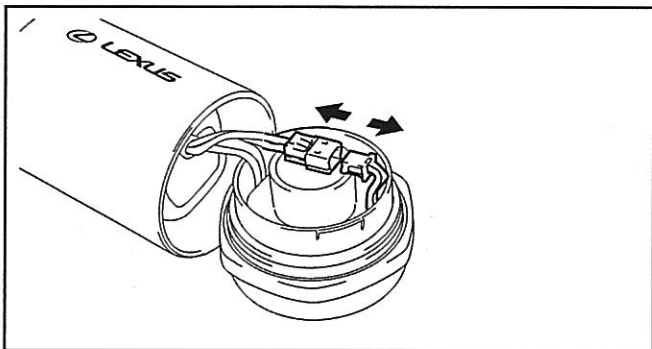
(1) 電池フタを矢印の方向へ回して開ける。



(2) 電池フタのミゾからコネクタを取り出す。



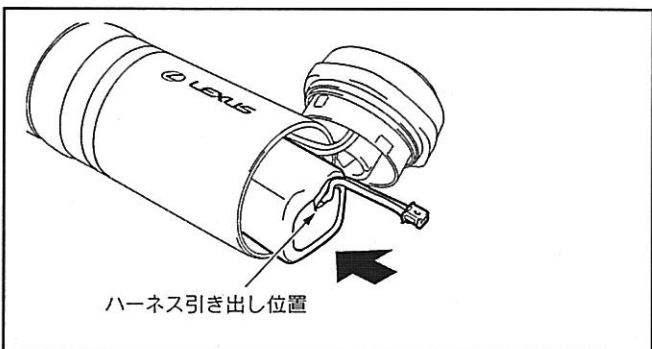
(3) コネクタの接続を切り離す。



⚠ 注意

コネクタを切り離す場合は、ハーネスを持たずにコネクタ（ハウジング）を持って作業してください。

(4) 古い電池を取り出して新しい電池と交換する。



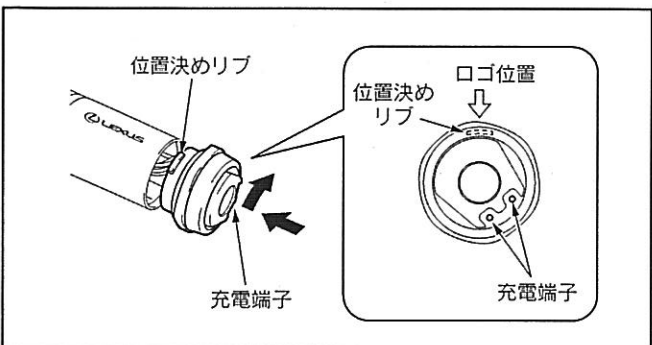
⚠ 注意

電池のハーネス引き出し位置を、本体のLEXUSロゴの方向へ合わせて取り付けてください。

(5) コネクタを接続して電池フタのミゾに取り付ける。

(6) 電池フタの充電端子を本体のLEXUSロゴと逆方向にし、LEXUSロゴと位置決めリブの位置を合わせ、電池フタを取り付ける。

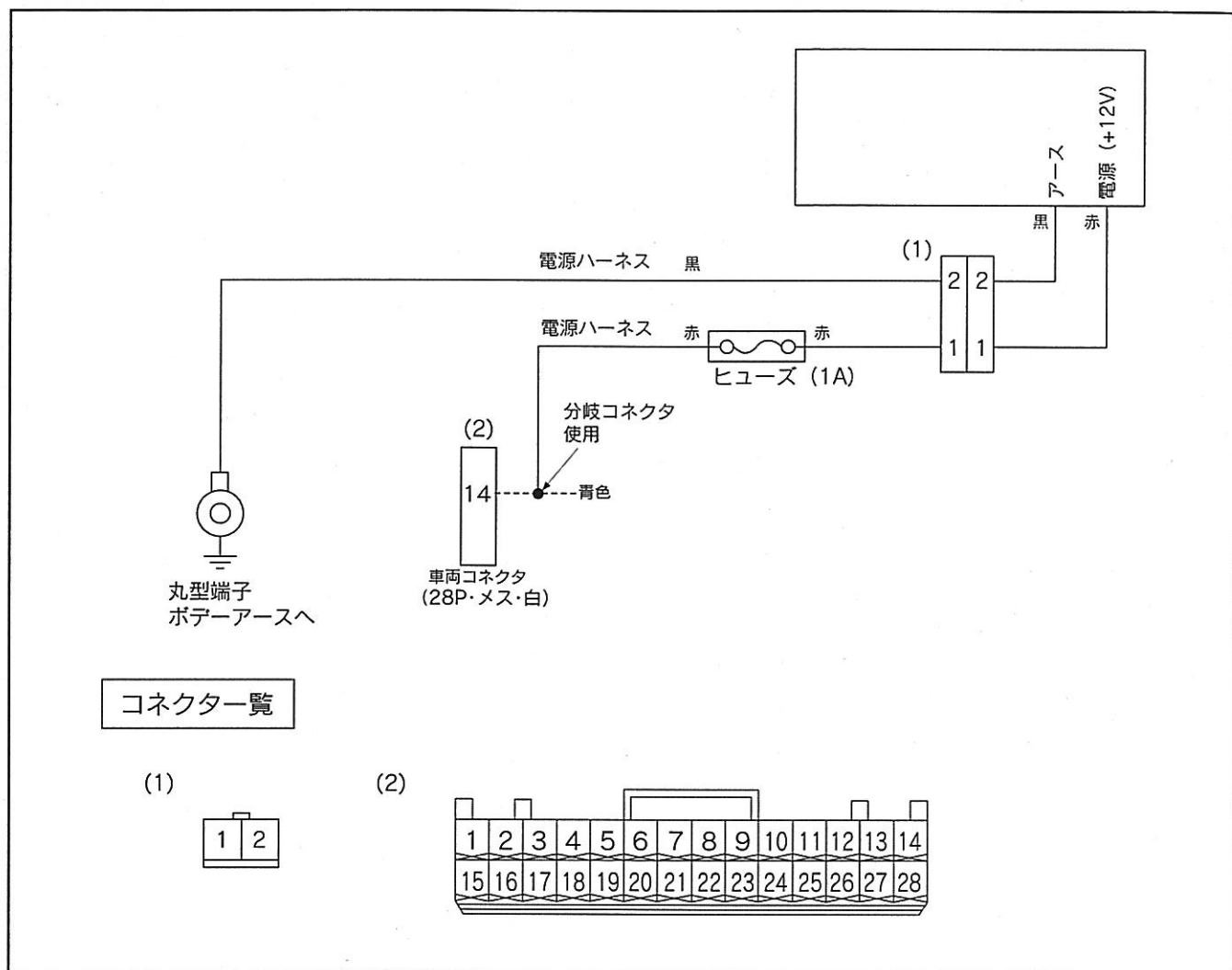
(7) 電池フタを矢印方向に回して閉じる。



⚠ 注意

ハーネスのかみ込みに注意して電池フタを取り付けてください。

配線図



仕 様

●信号灯

使用電池	Ni-MHバック電池	定格電圧	DC 5.0V
使用光源	ハイパワー白色LED 1コ（LEDのみの交換はできません）		
電池寿命	強点灯時	約1時間30分	使用温度20℃、連続点灯、 電池初期、満充電時
	弱点灯時	約10時間	
	点滅時	約3時間	
使用温度範囲	0～40℃		
外形寸法	幅37mm×奥行38mm×高さ117mm		
質量	約140g	点滅回数	約4回/秒

●充電器

入力	DC 12V	出力	DC 4.8V 55mA
充電時間	約12時間	使用温度範囲	0～40℃
外形寸法	幅154mm×奥行60mm×高さ65mm		
質量	約120g		

注：仕様は製品改良のため予告なく変更することがあります。